

第1回医療機能部会 議事要旨

- 1 日 時 令和2年10月8日(木) 16:30~18:47 (非公開)
- 2 場 所 北部地区医師会病院2階会議室
- 3 参加者 医療機能部会構成員、事務局、オブザーバー(※詳細は別添のとおり。)
- 4 議 事 基本構想について
——公立北部医療センターのコンセプト(必要性、役割、政策医療)
- 5 議事要旨(主な意見等)
 - (1) 公立北部医療センターの必要性
 - ア やんばる地域の魅力や観光客対応について記載追加すべき。
 - イ 医師以外の医療職の充実も必要。「医師など」または「医療者」という言葉に変えるべき。全体的に「医療者を充実させて、提供する医療を充実する」という流れはどうか
 - ウ 専門医療、救急医療、小児・周産期の三本柱の提供が重要。
 - (2) 公立北部医療センターの役割
 - ア 「地域包括ケアシステム」、「地域との連携」という文言を用いることが必要
 - イ 若手医師が臨床研修修了後も残る充実した研修指導体制の構築が「役割」として重要。
 - (3) 公立北部医療センターの機能(政策医療)
 - ア 「民間医療機関において対応が困難な」という記載は、新生児集中治療室(NICU)と離島・へき地医療以外は、民間医療機関でも提供しており違和感があり、また多くの方が腑に落ちない。「北部の民間医療機関において対応が困難な」としてはどうか。
 - イ 不採算部門という文言は、当該部門で働く医師の萎縮に繋がるので別の文言を使用して欲しい。
 - ウ ドクターヘリについては運営面の課題がある。「ヘリ搬送に対応できる病院機能」等の表現が良いのではないか。
 - エ 地域救命救急センターの整備・指定は必要。
 - オ 母体・胎児集中治療室(MFICU)は1万出生当たり1床の整備が適当とされており、地域周産期医療施設には必要ないのではないか。
 - カ 治療のみならず、緩和ケアに関する記載が必要ではないか。
 - キ 心臓・循環器に関する集中治療の記載が必要ではないか。
 - ク 5年から10年の頻度での発生が考えられる国際感染症の流行を考えると、回復期病床48床のうちに、感染症流行時に対応可能な病床をあらかじめ確保・整備することを検討してはどうか。
 - ケ 北部圏域では結核患者が多く、高齢者が中部圏域の医療機関に入院して死亡する事例があるので、結核病床の整備に関する議論も必要ではないか。
 - コ 回復期については、他の医療機関が十分に対応できるというならば、急性期病院がそこまで頑張る必要はないかもしれない。
 - サ 新病院や既存の地域の医療機関で足りない機能については、外来医療計画の活用により、その機能を担える診療所等を地域に誘致してもいいのではないか。

以上